

食品表示一元化検討会における今後の議論の進め方について（意見）

平成 24 年 2 月 21 日

森田満樹

食品表示一元化検討会において、これまで一元化にあたっての目的、考え方、適用範囲について、あわせて個別の議題として加工食品の原料原産地表示、栄養成分表示について検討を行ってきました。

しかし、前半の議論を振り返ると各委員の意見発表の場面が多く、意見がまとめられることはありませんでした。それどころか、個別の問題点において共通理解を持つことにも至っていません。このため、中間論点整理（案）は、検討の結果をとりまとめられた論点ではなく、個別の意見の紹介となっています。

文中の「論点についての主な考え方」は、意見がまとめられることなく並列のまま、それぞれの差異がわかりにくいものとなりました。これをパブリックコメントに出しても、意見を出す側は混乱するのではないかと懸念します。

これまでの議論の進め方を振り返り、今後の検討会における議論が適切に行われるよう、以下の意見を申し述べます。

1) これまでの議論の進め方の問題点について

- 食品表示の現状の問題点について、委員の再三の指摘にもかかわらずレビューが行われていない。現行の食品表示制度の問題点等を把握・検討する議論が前半の検討会では行われていないため、共通理解が進まなかった。
- 一つひとつの論点について、現状の問題を共有したうえで、対応策を講じ、議論を深めるための議事進行及び時間が足りない。（第 1 回目の検討会で、ヒアリング等が別枠で行われる予定として事務局から説明されたが、行われていない）
- 議論の進め方について、適切な工程表が提示されていない。

このため、中間論点整理案には以下の問題があります

- 検討会におけるとりまとめが行われていないため、議論で多数を占める意見と単発の意見とが、同等に取り扱われている。
- パブリックコメントは通常、提案する施策等について意見を出すものだが、今回は複数の意見が羅列されているものである。意見を出す側としてはそこから選択するのか、いくつかの意見を統合するのか、他の意見を出したらいいのか、わかりにくい。

2) 今後の議論の進め方について

- ① これまで提示された論点整理案、意見交換会やパブリックコメントで得られた意見等を踏まえて、今後は各論点について意見を取りまとめて、原案を作成する。
- ② とりまとめた原案を進めるにあたって、問題点を整理し、解決に向けての具体策についての議論を行う。
- ③ 今後の検討会の具体的な工程表を作成する。
- ④ より詳細な検討を行う必要がある場合は、座長の判断で、必要に応じて検討会の回数を増やす
- ⑤ より個別の検討を行う必要がある場合は、座長の判断で、必要に応じて分科会を設置して検討を継続する。分科会は検討結果を取りまとめて、検討会に報告する。

以上